

# とっとり 県PTA広報

令和8年3月1日  
95号



このロゴマークは元八幡小PTAの中本優紀さんのデザインによるものです

編集・発行 鳥取県PTA協議会  
事務局  
〒680-0846 鳥取市扇町21  
県民ふれあい会館内  
TEL:0857-21-2285  
FAX:0857-21-0906  
E-mail:tori-pta@gamma.ocn.ne.jp  
https://tottori-pta.net/



## 令和7年度 教育懇談会 を開催しました!

**日時** 令和7年9月27日(土)  
10:00~12:00  
**会場** 倉吉体育文化会館  
**参加者** 50名

趣旨

鳥取県の教育に現在どのような課題があるのかを、3つのテーマをもとに、鳥取県教育委員会6名の担当の方からお話をうかがいながら理解を深めました。

### CONTENTS

- P1**  
○教育懇談会
- P2**  
○三行詩コンクール  
○広報紙コンクール表彰・日P年次表彰・文科表彰
- P3**  
○青少年のインターネット利用環境づくりフォーラム  
○県Pとは
- P4**  
○要望書を提出しました

### グループ討議1

### 【テーマ】子どもたちの現状とメディアとの付き合い方

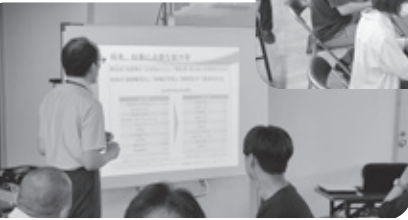
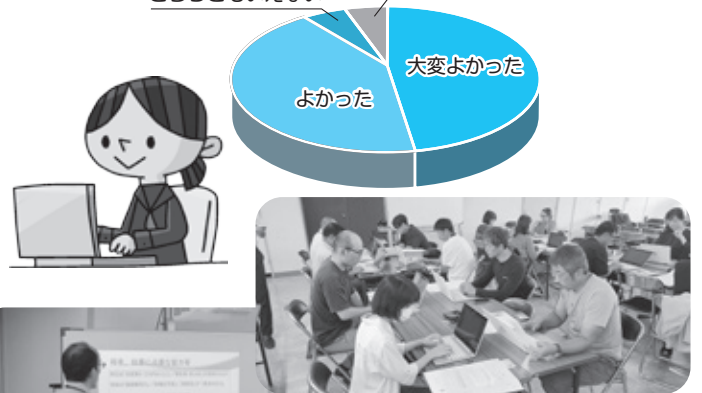
【講師】 鳥取県教育委員会事務局 小中学校課 指導主事 矢田 貝和志 氏  
教育DX 推進課 係長 澤田 健二 氏  
社会教育課 指導主事 圓山 英俊 氏

【内容】 全国学力学習状況調査等について、鳥取県の子どもの実態を聞き、どのような問題が出題されているのか、実際の問題を保護者も体験してみました。また、一人一台端末を授業でどのように活用しようとしているのか、実際に端末を利用した授業を体験してもらいました。後半は、鳥取県青少年健全育成条例の改正と、青少年のインターネットの利用実態や情報モラル、家庭でのルール作りのポイントなどについて研修しました。

### グループ討議に参加しての感想

- どのような思いで現行の学習要領が作られたかよく分かった。
- テスト問題やパソコンでの具体的な学習についても垣間見えた。とても参考になりました。
- メディアとのつきあい方についてもっと時間をさいてもらえると嬉しい。
- インターネットのルール決めについて、具体的な例があり、わかりやすく良かった。
- 学力低下が気になりました。

参加者アンケート (回答者 19人)  
どちらともいえない 満足しなかった



### グループ討議2

### 【テーマ】部活動について

【講師】 鳥取県教育委員会事務局 体育保健課 指導主事 戸井 有希 氏

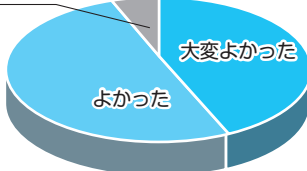
【内容】 現在、部活動は「活動主体を学校だけでなく学校を含めた地域に展開する」という大きな転換期を迎えています。部活動の地域展開・地域連携について、前半は国や県の動向、推進計画の改訂等のお話を聞き、後半は地域展開・地域連携の在り方や課題等について意見交換し、中学生がスポーツ・文化芸術活動に親しむ環境構築について、一緒に考えました。

### グループ討議に参加しての感想

- 完全移行はもうすぐそこですが、うちの学校はどのように取り組んでおられるのか、聞いてみようと思いました。
- 部活動地域連携は正直これまでの部活動よりも課題が山積みだと思います。学校教員の数を増やして報酬を増やすという対応が一番子どもたちとのつながりを保てて学校でのコミュニケーションが図れると思います。中学校の部活に関わっているが外部指導者1人では限界があるとすでに感じます。地域の指導者も生活や仕事があるため、犠牲になる対象者が変わるだけだと思います。
- 固定観念を捨てるのがなかなか難しいですが、一番大事なことは子どもたちがやりたいことをやれる環境なので、もっとさまざまな事例を知りたいと思いました。
- 問題が山積みだなと感じています。本当に答えも正解もない、子どもに有益になるようどう取り組んでいくべきか、联合会や単Pで考えていきたいです。



参加者アンケート (回答者 16人)  
どちらともいえない



### グループ討議3

### 【テーマ】不登校の子どもへの理解と支援のあり方

【講師】 鳥取県教育委員会事務局 生徒支援・教育相談センター  
指導主事 村口 知徳 氏  
指導主事 山口 功 氏

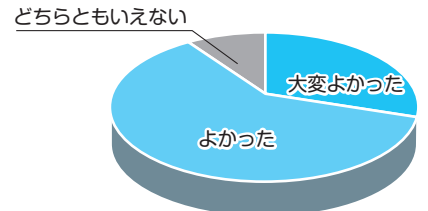
【内容】 前半は、鳥取県の不登校の現状、学校における不登校支援に関する基本的な考え方について。後半は、「不登校の子どもへの理解と支援のあり方」をテーマに、子どもの自尊感情を育む親子のコミュニケーションについて演習を交えて考えました。

### グループ討議に参加しての感想

- とても優しいお話でした。気持ちも温かくなりました。もっと学校側からのアプローチもあると当事者はとても助かります。情報が少なくどこにどうしたらいいのか分からず困っている方はたくさんいると思いますので、すぐに分かるような情報をいただくと嬉しいです。
- 学校と家庭の連携がますます必要。
- 不登校について、子どもを支えるための基礎知識が大変役に立った。
- 教員の参加が必要。
- 現状、保護者の思い、対応方法等さまざまな角度から説明いただき、とても参考になりました。



参加者アンケート (回答者 10人)  
どちらともいえない



# 鳥取県PTA協議会三行詩コンクール

現代の家庭や地域の環境が変わる中で、家族の会話やふれあいから育まれる「きずな」や「生活習慣」、そして「命の大切さ」を改めて見つめ直す機会として、鳥取県PTA協議会は、三行詩を募集しています。

家族で話し合いながら作品づくりに取り組むことで、子どもが普段言えない気持ちを知らることができたり、家庭のルールや生活習慣を見直したりするきっかけにもなります。また、言葉を選びながら一緒に作品を仕上げる時間は、家族のきずなを深め、子どもが「自分の思いを大切にもらった」と感じられる貴重な体験にもなります。こうした取り組みを通して、家庭教育の大切さを社会全体に広げていくことを目的としています。

## 令和7年度入賞作品

### 県P会長賞

やっと一年生になった妹  
ずっとまっていたよ  
学校のことがいっぱい教えてあげるね  
鳥取大学附属小学校四年 国岡 芽衣子

### 奨励賞

PTA・スポーツ・ご飯の準備に自分の仕事  
お母さん本当にいつもありがどう。そんけいしています。  
お父さんが夜中(こっそり)毎日洗たくしてくれていることも知っています。  
米子市立明道小学校六年 山本 千都

### 奨励賞

私をこんなに成長させてくれてありがどう  
私の何倍も「ありがどう」って言わせるよ！  
米子市立成実小学校六年 畑山 奈乃葉

### 奨励賞

背くらべ「伸びたね」「縮んだね」  
うれしい私の笑顔  
くやしのおばあちゃんの笑顔  
倉吉市立鴨川中学校三年 梅山 瑚涼

### 奨励賞

おかえりと鈴がいう  
黒いしっぽが、駆けてくる  
まるで言葉を持つように  
「待ってたよ」って鈴の声  
倉吉市立東中学校保護者 石賀 香織

## 令和8年度 三行詩募集

### テーマ

家族の会話やコミュニケーションから育まれる絆や、家族のルール子どもたちの基本的な生活習慣づくりなどの家庭教育一人一人の命のつながりや大切さ家庭での日常の出来事 など

### 募集期間

令和8年3月1日(日)～  
令和8年6月20日(土)

### 募集対象

小学生・中学生・一般(保護者・教職員等)

詳しくはこちらから！



## 令和7年度

# 日本PTA全国協議会年次表彰式 第47回全国小・中学校 PTA 広報紙コンクール表彰式

- 日時: 令和7年12月2日(火)
- 会場: 国立オリンピック記念青少年総合センター

OPTAを支えてこられた個人・団体のご尽力・成果が評価され、表彰を受けられました。  
また、広報紙コンクールでは、様々な工夫を紙面に盛り込まれた2校が受賞されました。  
誠にありがとうございます。

- 団体 湯梨浜町立湯梨浜中学校PTA  
鳥取市立修立小学校PTA
- 個人 高尾 裕子  
西土井めぐみ  
山崎雄一郎  
岡垣 一樹



日本PTA全国協議会会長表彰

## 令和7年度優良PTA文部科学大臣表彰

おめでとうございます

### 鳥取市立修立小学校PTA

- 日時: 令和8年2月6日(金)
- 会場: 文部科学省

OPTA役員負担を軽減しつつ、持続可能なPTA活動を模索され、中学生や地域と連携した活動が評価されました。

### レイアウト賞

- 米子市立明道小学校 「めいどう」
- 佳作 北栄町立北条中学校 「PTA会報」



全国小・中学校PTA広報紙コンクール

### 7年度日本PTA年次



## 鳥取県PTA協議会 小・中学生総合保障制度 (こども総合保険)

総合保障制度はお子さまのリスクを広く補償しています！

2026年1月現在の内容です

### 特長

※プランによってセットされている補償項目は異なります。総合保障制度の詳細に関しましては、パンフレット、補償概要等をご覧になるか引受保険会社にお問い合わせください。

- いじめ、SNS上での誹謗中傷、ストーカーなどの被害にも備えられる！
- 学校貸与の端末(タブレットなど)を誤って壊して、法律上の損害賠償責任が生じたときも補償！
- 自転車事故等で高額賠償事故が発生したときも補償！
- お子さまがおケガをした場合に補償
- 熱中症、細菌性食中毒、ウイルス性食中毒を補償
- 学校の授業・登下校中などにお子さまが携行している身の回り品を補償(修理費または時価額のいずれか低い金額を補償します。自転車等一部補償対象外のものがあります。)
- オンラインで簡単に保険金請求(デジタル保険金請求)



【引受保険会社】 AIG 損害保険株式会社 山陰支店 TEL.0852-26-2781 FAX.0852-26-2776

(受付時間: 午前9:00～午後5:00 土・日・祝日・年末年始を除く)

S-260412 有効期限 2027年2月

## PTA活動中の団体保険

(PTA団体傷害保険・PTA管理者特約付賠償責任保険)

PTAが主催する行事中に参加中のケガ・賠償事故を補償します。

例えば保険ってどんなときに支払われるの？

### ★PTA団体傷害保険

(お支払い例)

- ・所属するPTAの行事であるバレーボール大会の練習中、転んで足を骨折してしまった。※PTAの管理下で練習を行っていることが条件となります。
- ・所属するPTAの行事であるバザーで食中毒を起こし通院が必要となった。※細菌性食中毒、ウイルス性食中毒を含みます。

### ★PTA管理者特約付賠償責任保険 ※PTA活動の遂行に伴い法律上の賠償責任が発生する場合に支払いとなります。

(お支払い例)

- ・所属するPTAの行事である清掃活動時、草刈機を用いていたところ飛び石により駐車中に停車中の車にキズをつけてしまった。
- ・所属するPTAの共有行事である運動会でテントの張り方が悪く、倒れたテントが生徒に当たりケガをってしまった。

この特約は「PTA団体傷害保険・PTA管理者特約付賠償責任保険」の概要を詳しく内容につきましてはパンフレットをご覧ください。なお、この不明な点は、取扱代理店または後援ジャパンまでお問い合わせください。



●取扱代理店 株式会社アールド 鳥取支店 〒680-0845 鳥取市富安2丁目107 TEL.0857-51-1033 FAX.0857-51-1034 <受付時間>平日の午前9時から午後5時まで

●引受保険会社 損害保険ジャパン株式会社 〒680-0822 鳥取市今町2-112 アクティビル鳥取本ビル2F TEL.050-3798-2024 FAX.0857-27-1510 <受付時間>平日: 午前9時から午後5時まで

【専任サポートセンター】 0120-727-110

【受付時間】24時間365日

0125-0539 2025年3月5日版

# 第42回青少年のインターネット 利用環境づくりフォーラムin鳥取

スマートフォンなど多様なインターネット接続端末の登場により、さまざまな場所や端末からインターネットを利用することが可能となるなど、近年、青少年のインターネット利用環境が急激に変化していることから、青少年のインターネット利用環境づくりフォーラムが開催されました。

令和5年10月14日に続き県内では2度目の開催となります。

## パネルディスカッション、盛り上がりました！



フォーラムの後半、「子どもと大人で考えよう インターネットとのより良い付き合い方」と題したパネルディスカッション(討議)に鳥取県内の中学生と各分野の大人が登場しました。子どものインターネット利用をテーマにした、活発な意見の一部をご紹介します。

### テーマ①「時間の制限は必要？」

**【中学生】** 普段、自分のスマホには1日2時間の制限がかけられているが、一度不具合で制限が外れてしまったことがあり、1日6時間も使ってしまった。自分では止めることができないから、親に止めてもらいたい。

**【中学生】** 自分はスマホを持っていないが、現代の子どもはスマホを見ることで創作意欲や創造力が少なくなっていると思う。

**【大人】** 一律に制限するのは良くない。子どもの発達段階に応じて、3時間や5時間など決めてはどうか。

**【大人】** 小5～中3は脳が発達する時期。2時間以内に制限するのが良い。

### テーマ②「高校生のスマホ利用に制限は必要？」

**【中学生】** スマホを持つということは、社会に出ることと同じ。それくらいの覚悟が必要だ。

**【高校生】** 詐欺などの被害に遭うと家族や友人にも被害が及ぶ。ある程度制限は必要。

**【大人】** 子どもはまだ判断力がついていない。スマホだけの問題ではなく、自分で適切な判断ができるようになるまで制限は必要。

**【大人】** 子どもと親で契約書を交わしてはどうか。「この契約内容を守るなら、親が料金を支払う」という約束をしては。

### テーマ③「生成AIを子どもに積極的に使わせるべき？」

**【中学生】** 自分で考える力や作文する力を身につけた上で使うのならいいと思う。

**【高校生】** 将来絶対使わなくては行けないツール。子どもの頃から慣れておいたほうがいい。

**【大人】** 生成AIの使い方には、自分の力を強化する「最強文房具型」と自力では動けなくなる「全自動ソファ型」がある。思考力を深めるための手段として利用してほしい。

### テーマ④「インターネットをより良く使うために大人がすべきこと、子どもがすべきこと」

**【中学生】** 大人は良い姿勢を見せてほしい。食事中にスマホをつつかないでほしい。

**【中学生】** 自分の成長のために使いたい。大人になったら自分しか頼れない。今から鍛えていきたい。

**【大人】** アナログな人と人とのつながりを大事にしたい。技術の進歩が早すぎて保護者が追いつけていない。保護者同士で情報交換したい。

**【大人】** ネットは好きな情報しか目に入らない仕組みになっている。受信する情報に偏りがあることを知り、多様でカラフルな世界を知ってほしい。



**日時** 令和7年10月5日(日)  
**会場** 鳥取市総合福祉センター さざんか会館  
**内容**

- ① 県内情勢の説明: 鳥取県青少年健全育成条例の改正について
- ② 基調講演: はじめての情報に出合った時の《4つのハテナ》  
下村 健一 氏(白鷗大学特任教授、元TBSアナウンサー)
- ③ 討議: 子どもと大人で考えよう インターネットとのより良い付き合い方  
コーディネーター: 足羽 智史 氏 県教育委員会事務局社会教育課指導主事  
パネリスト: 下村 健一 氏 白鷗大学特任教授、元TBSアナウンサー  
岩田 健一 氏 鳥取大学情報戦略機構 准教授  
重橋 薫 氏 (株)NTTドコモ鳥取支店支店長  
山本 祐子 鳥取県PTA協議会会長  
鳥取西高、米子東高、福生中、湊山中生徒

### 参加者の感想

- 学生の意見が聞けたことが大変よかった。子どもたちが、意外に自制的でしっかりしていると感じた。(保護者)
- 生徒の皆さんの考えやそれを踏まえた大人達の考えを聞くことができ貴重な機会となりました。(会社員)
- 討議がとても参考になった。子どもたちがすごくしっかりしていてびっくりしました。大人も子どもも時代の変化に対応できるように対話しながら学び続けることが大切だと感じました。(高校教員)
- 当職の業務内容に、県内小中学校及び高校等へ出向いて「情報メディア出前講座」を開催しているが、ネットに関する注意喚起は当たり前となり、子どもたちは「あーまたその話ね」といった表情になることが多く見られる。基調講演の内容の「見方を変える」「ソ・ウ・カ・ナ」は今後の当職の講演活動においても、大変参考になる内容であった。鳥取県の取り組みは大変分かりやすく、小さい子どもから大人までしっかりと理解できる内容だと思う。「とりのからあげ」中学生・高校生のパネリストが立派でした。(その他)
- 子どものネット利用時間は年々伸びています。ネットが楽しいのは、脳の「刺激」と「報酬」、学校と家庭以外の重要な居場所(サードプレイス)、など脳の成長と社会環境が影響しています。また、闇バイトやネットいじめ、ディープフェイク、デジタルタトゥーなどトラブルは多様化・深刻化しています。
- インターネットフォーラムでは、普段聞くことのできない中学生・高校生のリアルな現状や本音が飛び交い、会場が笑いの渦に包まれました。ネット依存に伴う創造性欠如への危惧、長時間利用の実情や家庭での対策、ChatGPTへの悩み相談など、大人顔負けの主張の数々で、ネットのメリットとデメリットをまっすぐに捉え、かわり方を冷静に見つめる姿に登壇された専門家の皆さんが舌を巻いていました。
- ネットの進化が加速している今、子どもの現状を知り、一緒に学び、利便性も課題もアップデートしていくことが大事だと知る素晴らしいきっかけになりました。



## 「県Pとは？」チラシを作りました。

鳥取県PTA協議会(県P)の活動をより多くの人に知っていただくために、チラシを作成しました。各連合会で県Pの役割が知りたい、疑問がある等、悩んだ時には事務局までご連絡ください。県Pの会長が説明に行くことも可能ですので、ご相談ください。



# 県教育長へ要望書を提出しました

## 主な要望事項

- 教職員の確保と多忙の解消
- 中学校の部活動の円滑な地域展開
- 施設・設備等の充実と改修、危機管理
- 学校給食の質の確保



**【足羽】** 地域や学校間の学力差は、基礎学力の部分が大いと思います。漢字や計算など基本を重視している学校は、学力調査の結果が維持されていました。

保護者の皆さんには、学校の宿題やスマホのルールについてはもちろん、さまざまな社会問題について、子どもと対話していただけたらと思います。人権や戦争、クマの出没など、どんな話題でもかまいません。家庭での対話がベースとなり、勉強や人への思いやりにもつながっていくと思います。

教員の働き方改革に関して言えば、保護者の思いを教員個人にぶつけるのではなく、学校に対して伝えるようにしていただけたらと思います。経験の浅い先生は緊張してしまいますから。

**【山本】** 保護者側も新任の先生を育てていくという意識が大切ですね。保護者は学校の応援団です。PTAが保護者の学びの場になり、コミュニティスクール(CS)で関わる方も一体となって、学校と子どものために何ができるか模索していけたらと思います。

**【足羽】** 鳥取県はCSの設置が早く、先生の働き方改革に寄与しているケースも多くあります。CSを活用して業務の改善につなげられるように進めています。

**【山本】** 「朝ラン」のように自主的に走る時間を設けた学校で、体力テストの結果が向上した例もあります。基礎学力の定着も、ぜひ全県で進めていただきたいと思います。

**【足羽】** 分かりました。勉強もスポーツも文化活動もしっかりと、ですね。今、子どもたちに必要なのは継続する力、我慢する力だと感じます。家庭や地域でも「頑張れ」と声をかけていただき、足りない部分を支えていただけたらと思います。

現在、どんどん子どもと地域の大人との関わりが減り、同じ地域に住む子どものことも知らない大人が増えています。そんな中、PTAやCSとして子どもに関わる大人がいることが、子どもを育てる土台になります。子どもにしっかり関わり、保護者と先生が課題を共有して協力し合うことに、PTAの存在意義があると思います。



鳥取県PTA協議会は昨年12月22日、近年の教育現場での課題や教育行政に対する要望をまとめた要望書を鳥取県教育委員会に提出しました。提出後には山本祐子会長と足羽英樹教育長が教育の現状について熱い思いを語り合いました。

**【山本祐子会長】** 子どもたちの心を育てるために、先生の多忙の解消が課題となっています。先生の数が少ないことに加え、子どもや保護者への対応も多様化しています。保護者やPTAはどのように関わればいいでしょうか。

また、全国学力調査により学力の低下が問題視され、県内でも地域間の学力差が生まれています。

**【足羽英樹教育長】** 教員の確保は全国的な課題です。本県では関西で採用試験を実施するなどして県外からの教員採用につなげていますが、まだ不足しています。鳥取大学や島根大学が地域枠を設置されたことで、地元で教員になる道ができました。現在、外国語教育や道徳の教科化、ICT活用などで、教員の指導



内容は多様化しています。それらに対応するためにも人材確保は必須です。

学力調査は、都道府県の順位にはさほど優位な差はないとされていますが、学力を測る物差しの一つとして問題意識を持って捉えています。

**【山本】** 若者の文章力や語彙力の低下を実感しています。基礎学力を養う時間や宿題の量も減っているのではないのでしょうか。

要望書提出について  
詳しくはこちらから！



## 鳥取県議会 令和7年度(令和8年度予算)団体要望聞き取り

民主とっとり、公明党鳥取県議会議員団、無所属(市谷、福浜・松田・西村・山川・前住・玉木議員)の方と対面にて団体要望の聞き取りをしていただきました。

鳥取県の子どもたちを取り巻くさまざまな問題や教育予算等について活発な意見交換が交わされ、また、鳥取県PTA協議会の活動を知っていただく大変貴重な時間となりました。

